

ブラジル政治にスキャンダル

ポイント① テメル大統領にスキャンダル

ブラジルのテメル大統領が、マネーロンダリング（資金洗浄）などの罪で起訴された前下院議長の汚職スキャンダルで隠蔽画策に関与した疑いがあると地元紙が伝えました。

同国メディアのグローボ紙は現地時間17日夜に、食品加工大手JBSのパチスタ会長が3月に大統領と面会した際、汚職事件で逮捕されたクーニャ前下院議長を口止めするための賄賂について話し合い、その会話を録音、司法取引の一環として録音内容を司法当局に提出したと伝えました。

ポイント② ブラジル金融市場はトリプル安

こうした政治スキャンダルを受けて、テメル氏が掲げる財政再建計画がとん挫するとの懸念から、18日のブラジル金融市場は通貨、株式、債券が下落するトリプル安となりました。通貨レアルは対ドルで前日比6.8%下落、株式ボエスパ指数は8.8%下落、10年国債利回りは1.77%ポイント上昇しました（債券価格は下落）。

但し、ブラジル金融市場は、インフレ抑制や景気回復、および、各種改革への期待から、2015年秋から16年初にかけて付けた安値から大幅に上昇しており、為替は対米ドルキャリーリターン指数で約6割上昇、株価は約8割上昇、10年国債利回りは6%以上低下（価格は上昇）していましたので、上昇の反動が大きいことはやむを得ません。

ポイント③ 今後の見通し

ブラジル財務省と中銀は、市場の流動性維持に向けた用意はいつでもできていますと表明し、必要ならば為替・債券市場のボラティリティー抑制に動く考えも示しました。また、テメル大統領は最高裁の調査によって偽りであることが証明されるだろうと述べ、汚職関与を否定し、辞任の求めには応じない考えを表明しました。

テメル大統領が辞任、あるいは弾劾された場合、憲法の規定で下院議長が大統領代行を務め、議会は30日以内に新たな大統領を選出します。ただ、政治家の多くは国営石油会社などを巡る汚職事件に関与した疑いで当局の捜査を受けているため、後継者選びが難航するリスクが指摘されています。しばらくは政界の行方に注視する必要があると思われる。

図1：ブラジルレアルの動向

期間：2015年6月1日～2017年5月18日、日次

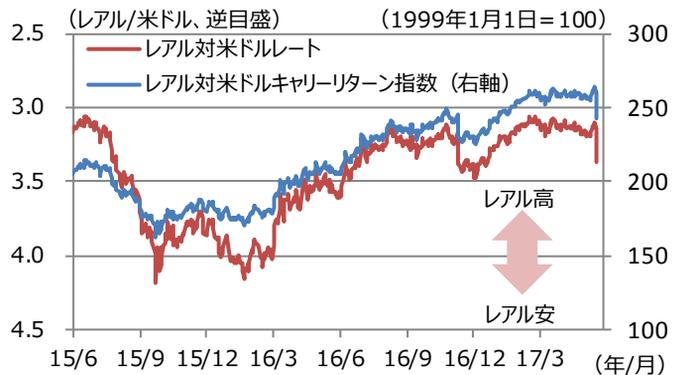


図2：ブラジル株式の動向

期間：2015年6月1日～2017年5月18日、日次

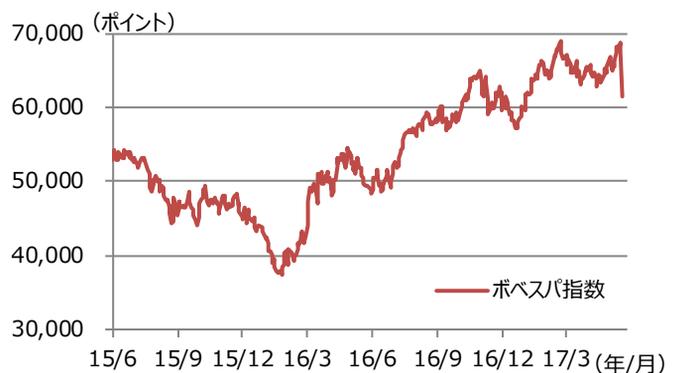


図3：ブラジル国債の動向

期間：2015年6月1日～2017年5月18日、日次



(注) ブラジルレアル対米ドルキャリーリターン指数とは、レアルの対米ドル通貨変動にレアルと米ドル間の金利差を加えたトータルリターン。ブラジル10年国債利回りは、ブルームバーグ・ジェネリック10年国債利回り

(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。